令和 8 年 8 月 28 日

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

学校法人大原学園
専門学校西日本昴自動車工科大学校
学校関係者評価委員会

学校法人大原学園　専門学校西日本昴自動車工科大学校 学校関係者評価委員会は、令和 7 年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下の通り報告致します。

１．実施日時
令和 8 年 7 月 30 日（木）13 時 30 分～14 時 15 分

２．実施会場
大原学園西日本昴校　1 号館 2 階

３．学校関係者評価委員
中本　佳博　　氏　（ネッツトヨタ北九州株式会社　サービス部　技術課　係長）
福田　哲矢　　氏　（株式会社ホンダモビリティ九州）

（事務局）
三好　一哉　（大原学園西日本昴校 校長）
小林　恒彦　（大原学園西日本昴校 部長）
木山　龍昭　（大原学園西日本昴校 課長代理）
藤永　賢治　（大原学園西日本昴校）
宮木　光司　（大原学園西日本昴校）
安藤　寿晃　（大原学園西日本昴校）

４．学校関係者評価報告

【自己評定（達成度)】

1（基準を満たしておらず改善が必要）2（概ね基準を満たしている）3（基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている）

基準1　教育理念・目的・目標と教育マネジメント

1-1　理念・目的及び目標の設定等	達成度	2
総　　括	学園の教育理念、目的、目標、育成人材像が具体的な言葉で明文化されており、「就職」と「資格取得」において一定の成果を残し、有為な産業人を育成することができている。全国に多数の学校を設置している法人であるが、教育理念などは大原学園ホームページなどで広く周知・公表されており、全教職員に浸透している。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	
1-2　職業教育のマネジメント	達成度	2
総　　括	校長を中心とした運営体制のもと、運営会議、学科会議、教育課程編成委員会等を設置し、教育課程の企画・運営・改善を組織的に行っている。また、資格取得状況や就職実績、学生アンケート等を活用し、教育活動の検証と改善に取り組んでいる。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

基準２　教育課程、教育の実施、学修成果

2-1　教育課程の編成と授業科目	達成度	2
総　　括	各コースで人材育成に関する目標を設定し、スケジュール管理表で実施状況と成果をチャックしている。チェック後は次年度の管理表修正に活用している。 各コースで実施する科目別の定例試験の結果を年度別で管理比較し履修状況が確認できている。また、検定試験に向けての対策については、検定結果を基に適宜修正が行えている。 産業界及び地域社会と連携し、学校評価及び教育課程編成委員会を設置し年2回会議を実施している。 外国人留学生に対して日本国内で就職する際に必要なる教育を実施している。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	
2-2　教育課程の実施	達成度	2
総　　括	学則に定めた各学科の授業科目内容は、シラバスを作成し、講義、演習、実習等、適切な授業形態及び教材で教育を実施している。また各学科で入学段階から定期的にガイダンスを実施し、教育目標、将来像を明確にしている。さらにシラバスの内容も周知している。学習に関する相談・支援は個別面談を行っている。成績評価は、ガイダンス等での告知を行い、科目毎に統一的な試験を実施し、客観的な点数を基に評価を実施している。シラバス及び成績評価と客観的な指標	

	（GPA）の算出方法についてはホームページにて公開を行っている。実習については、チェックシートを用いた効果測定を実施している。各学科ともに実践的な職業教育として企業等と連携した、実習等を行っている。また、認定している教育課程に対して、一定の連携実習等を実施している。連携実習等において、協力機関等と到達目標等を共有し、成績評価等について必要な協働・連携する体制を整備している。
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている

2-3　単位・卒業認定	達成度	2
総　　括	卒業認定方針に基づき、履修状況、出席状況及び成績評価により適正な卒業認定を行っている。 卒業認定基準が明確であり、学生へ周知されている。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

2-4　学修成果目標の達成状況	達成度	2
総　　括	各コースで卒業認定方針を設定することと合わせて、各クラスで資格取得スケジュールを基に学習を進め、検定合格や卒業認定基準を上回る指導体制を構築している。学校内での企業説明会や進学ガイダンスを実施し、進路決定のサポートを行っている。就職希望者に関しては、例年100%の就職率を達成している。 進学に関しては、大学、専門学校など学生の興味関心にあった進学先に入学ができるようにサポートしている。企業連携講習では卒業生からの具体的な仕事内容等を踏まえた講座を実施し職業教育の効果を高めている。また、企業や関係団体から授業等に関する意見交換会を2回/年実施授業内容の改定に活用している。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

基準３　学生の受け入れ、学生支援

3-1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	達成度	2
総　　括	入学者受入方針を定め、募集要項等を通じて公表し、公正な選考を実施している。学則に定められた学科ごとの入学定員及び収容定員に基づき、適正な学生の受入れと在籍管理を行っている。学則に定められた学科ごとの入学定員及び収容定員に基づき、適正な学生の受入れと在籍管理を行っている。 入学定員に対する入学者数については、現在適正である。一方で、少子化による志願者減少への対応が必要である。少子化と外国人材の活用の状況を確認しながら定員については注視している。日本人希望者が減少しているため、留学生の割合も適宜検討する必要がある。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

3-2　多様なが癖い対する就学支援	達成度	2
総　　括	日本語学科では留学生を受け入れている。日本語学科卒業後の進路として、自動車整備士コースがあり、日本で生活する上でのマナーや習慣も学ばせている。自動車整備コースでは日本人と同じクラスで授業を実施している。留学生に関しては、資格外活動（アルバイト）の管理を徹底し、法令違反とならないように指導	

	を行っている。日本人と合わせて留学生に関しても就職希望者は全員就職ができている。留学生については、学費面で支援を行っている。
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている

3-3　学生生活に関する支援	達成度	2
総　　括	学生生活等に関する相談体制は、担任及び副担任が中心となり行っている。主に就職支援、学生相談、経済的支援、健康管理、課外活動等、学生支援の体制が整っている。学校保健安全法に基づき、年1回学校指定の医療機関等に依頼し、健康診断を実施している。また、日々の出席確認で、欠席者等を把握し、健康上の理由であれば、状況に合わせて医療機関での診察を勧めている。 留学生に関しては、通訳を介しての面談ができるよう協力会社と提携している。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

3-4　学生の自主的な学習等の促進に対する支援	達成度	2
総　　括	自習の学習ができる環境と学習資料の提供、質問対応などを実施している。 成績不振者に対しては放課後や長期休暇を利用した補講を実施している。 上記対応により留年者は殆ど発生しないが、病気等による休学に関しては個別対応としている。退学希望者の状況把握は担任と授業担当職員が適宜、学生との面談や授業中のコミュニケーションで把握し、チームで対応している。学生による地域イベントへの参加を行っている。また、地域の清掃ボランティア活動を実施している。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

基準４　教員・教育実施組織

４-1　教員の配置、募集、採用	達成度	2
総　　括	採用基準は整備され、採用計画に基づき、教員は確保できている。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

4-2　教員の組織編制	達成度	2
総　　括	学園組織図において基本的な組織体制を整備するとともに、各校の事業計画書及び業務文書等でそれぞれの業務分担を明確にしている。また、教育に関する組織的な連携及び情報共有も行っている。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

4-3　教員の資質の向上	達成度	2
総　　括	定期的に学生アンケートを実施するほか、上司の講義聴講等により専門性、指導力の把握・評価を行っている。 企業等と連携した教員研修を実施し、各学科が目指す資格試験の制度や業界ニーズに対応する教育が実践できるよう、教員の資質向上に努めている。	
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている	

基準５　教育環境

5-1　教育環境の整備点検、改善等		達成度	3
総　　括	適宜メンテナンスを行っている。業者等との連絡体制が明確になっており、適切な維持管理体制を整備している。また、時代に即した実習設備への入れ替え等を行っている。		
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている		
5-2　安全対策、防災組織		達成度	2
総　　括	防災マニュアル（学校安全計画）を準備し、職員より各クラスで災害発生時のルール確認と防災訓練を行い、災害に備えている。また、備蓄品等の整備も行われている。		
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている		

基準６　教育活動の基盤と情報の公表

６-1　中長期計画と財務基盤		達成度	3
総　　括	2025年4月1日施行（7年間）の中期計画が策定され、専門学校を含む学校種別に明確な計画（目標）が示されている。また、事業報告を通じて、進捗状況や課題等も共有されており、必要に応じて見直しを図ることができる体制にある。十分な財務基盤が確立されている。		
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている		
6-2　学校運営		達成度	3
総　　括	意思決定システムが確立されており、学園全体の運営方針は理事会・評議員会で、各校の運営方針は校長を中心とした運営会議で定められている。また、その内容は全体朝礼およびイントラネットやグループウェアにて速やかに告知するとともに各部署で周知徹底している。本部及び事業部単位で、教職員に必要とされる研修や自己啓発の機会が継続的に提供されている。また、学校単位でも、企業等と連携し外部講師を招いた講習・研修を積極的に取り入れている。		
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている		
６-3　社会からの理解と情報の公開		達成度	2
総　　括	法令に従い、大原学園ホームページ等に、教育情報や財務情報等が適切に公表されている。		
学校関係者の評価・提言	適正に運営されている		

５．学校関係者委員会総括

専門学校西日本昴自動車工科大学校の令和６年度における自己点検・評価については、全般的に良好な結果であった。

学校運営は、意思決定システムが確立されており、円滑な運営が行われている。また、教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、教育理念を達成するための事業計画の策定、各種研修制度の確立を通じて有為な人材育成を行うことができていると考える。また、自動車分野、日本語分野を有しているが、就職実績等において一定レベルの教育成果を残すことが出来ているが資格取得では課題があるため改善が必要である。学生や家庭とのコミュニケーションを図り、長所や特性を踏まえた指導ができていると推察される。若者の傾向や労働力需要に関する情報収集も行っており、時代に即した方法を積極的に取り入れようと努めている。

今後も学校関係者一同、客観的な視点から様々な提言を投げかけることにより、専門学校西日本昴自動車工科大学校が社会の信頼を益々得られるようにサポートして行きたいと考えている。